



# 筑紫路

発行  
自衛隊福岡病院  
春日市小倉東1丁目  
61番地  
TEL 092-581-0431  
ホームページ



## 新型コロナウイルスとの戦い



自衛隊福岡病院長兼春日駐屯地司令  
陸将補 松木 泰憲

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行の影響により、入学式をはじめとする各種行事等が中止・自粛となる中、令和二年度がスタートしました。三月下旬には東京オリンピック・パラリンピックが一年程度延期されることが決まり、四月十六日には特別措置法に基づき「緊急事態宣言」が、日本全国に発令されました。本稿を執筆している四月中旬の時点で、全世界がこのパンデミックを制御するための厳しい戦いを継続しています。

自衛隊はCOVID-19への対応として、本年一月下旬に中国武漢からのチャーター便に看護官を派遣したことを皮切りに、武漢からの帰国者に対する生活支援、ダイヤモンド・プリンス（DP）号における検疫等の支援、自衛隊中央病院での感染者受入れ・治療を実施しました。自衛隊は衛生部門を基幹として感染症拡大という国の危機に対処し、この間対応にあたった隊員から一人の感染者も出さず任務を完遂しました。

防衛大学の卒業式訓示で言及され、COVID-19対応にあたる自衛隊員にとって励みや士気高揚につながっています。

前述のように自衛隊中央病院は二月下旬から三月上旬にかけて、DP号等から外国人を含む百名以上の感染者を受け入れましたが、感染者の治療を行う医療チームは、無症状であっても胸部CT検査で肺に影を認める症例が存在する等新たな知見を発見しました。それらのデータは中央病院から医学論文やホームページへの掲載という形で国内外に発信され、多くのメディアで取り上げられました。自衛隊衛生の活動を通じて得られた医学的知見が、世界のCOVID-19に対する診断・治療に活用された意義は大きいと思います。

自衛隊福岡病院は今年度、開院から六十五年という節目の年を迎えます。厳しい状況の中にあっても衛生の専門性を発揮して、国民の皆様への安心安全を守ることは、自衛隊衛生の存在意義に通じます。当院は引き続き地域医療および自衛隊の強靭性を維持に寄与してまいります。皆様どうかご愛ください。

### 心突然死対策講習会

令和二年一月二十五日、コースディレクター石神二佐（第一〇二対特殊武器治療隊長）の協力を得て九州各県の医療従事者二十四名に心突然死対策講習会を開催して、突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生の要領について教育を実施した。



### 准看護学院卒業式

准看護学院（学院長・井上一佐）は、令和二年三月四日、西部方面総監部医務官 山本一佐を迎え、第四十三期准看護学生の卒業式を挙行した。今回は新型コロナウイルス流行の影響を受け、マスクを着用しての式となった。



### 准看護学院入校式

准看護学院（学院長・濱地二佐）は、令和二年四月一日、西部方面総監部医務官 山本一佐及び西部方面衛生隊長 白石一佐を迎え、第四十五期准看護学生の入校式を挙行した。



### 西部方面総監初度視察

令和二年二月十九日、西部方面総監 本松陸将による初度視察を受けました。

本視察では、状況報告・施設等巡視・懇談等を実施し、新型コロナウイルス感染症の対応も含め、当院の現況を確認していただき、ご意見をお伺いしました。



### 防医大看護三期生

令和二年三月九日、十二名の新卒（防医大看護官三期生）が着隊した。

三月二十七日に幹部自衛官になるべく前川原駐屯地にある幹部候補生学校へ入校した。五月二十六日に卒業予定であり今後ともご指導等をお願いする。



### COVID19共同訓練

令和二年四月十日、福岡県と感染防護に関する共同訓練を実施した。

副院長大川一佐以下八名の隊員が、北九州市の東横イン北九州空港において、部外機関関係者（県、医師会、部外医療機関関係者、JMAT、消防、警察）の人員約三十名に対する、防護衣着脱要領の教育及び当該施設におけるゾーニングに関する意見交換等、新型コロナウイルス感染者受け入れに備えた訓練を実施した。



状況報告を受けられる本松陸将

施設等を巡視される本松陸将

副院長と防医大看護官三期生

履修前教育での戦闘訓練

防護衣着脱要領教育

